

平成 16 年 12 月 13 日

各 位

国際石油開発株式会社

代表取締役社長 松尾 邦彦

(コード番号：1604)

問合せ先：広報室長 伊藤 成也

(電話：03-5448-1238)

インドネシア共和国 南東スマトラ沖鉱区における天然ガス販売契約の締結について

当社が、子会社インペックススマトラ株を通じて事業を推進しておりますインドネシア共和国南東スマトラ沖鉱区において、12月12日、同社ほか、同鉱区生産分与契約のコントラクターとインドネシア国营電力会社(PLN)との間で天然ガス販売契約が締結されましたので、お知らせいたします。

本天然ガス販売契約により、コントラクターは、PLN に対して、2006 年から 2018 年まで、天然ガスを販売する予定となっており、天然ガス販売量は、日量 800 億 BTU (2007 年以降のプラトベース)を予定しております。

同鉱区内の主にゼルダエリア及びバナワティエリアにて生産される天然ガスが、本販売契約の供給源となっており、ジャワ島西部に位置する PLN のチレゴン発電所に向けてパイプラインにて供給されることとなっております。

本天然ガス販売契約によるジャワ島への天然ガス供給は、同鉱区での初めての天然ガス供給プロジェクトであり、インドネシアの天然ガスの有効利用に貢献するものとなっております。

今回の天然ガス販売契約締結により、当社グループの事業基盤が更に強化されることとなります。

補足説明

鉱区の概要

南東スマトラ沖鉱区は、スマトラ島沖に位置し、鉱区面積は、8,286km²、ジャカルタの北西約 100km に位置しております。(添付鉱区図の北西ジャワ沖鉱区は、当社グループのインペックスジャワ株の保有する鉱区となっております)

参加の経緯及びパートナーの概要

当社の子会社インペックススマトラ株(資本金：4億円)は、1987年1月、本鉱区の参加権益を取得し、現在、同社の参加権益は 13.067444%となっております。本鉱区の現在の参加権益保有者は、同社のほか、オペレーターの中国 CNOOC 社(65.54%)、韓国 KNOG 社(8.91%)、三菱商事(5%)及び英国 Paladin 社(7.48%)となっております。

本鉱区の生産分与契約は、1968年9月に、当時のIIAPCO社が Pertamina（インドネシア国営石油会社）との間で締結いたしました。その後、2018年まで延長（更新契約）されました。

原油生産

本鉱区では、既存のシンタ油田、ウイドゥリ油田等から、本年11月末現在、日量約71,000バレルの原油生産を行っております。

当社グループのインドネシアで生産される天然ガスの国内及び近隣諸国への供給プロジェクト

当社グループにおいては、現在、国際石油開発（株）による東カリマンタンボンタン地区へのガス供給、インペックスジャワ（株）による PLN、PGN（国営ガス会社）向けガス供給に参加しております。また、ナトゥナ石油（株）によるシンガポール及びマレーシア向けガス供給にも参加しております。今回のインペックススマトラ（株）による PLN 向け新規ガス販売契約は、当社グループのインドネシアで生産される天然ガスの国内及び近隣諸国への供給プロジェクトに加わるものとなります。

以上

